



第28回例会報告 *通算例会回数4098回目* (3月24日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

【 出 席 報 告 】

・会員数 55名 ・出席数 28名 ・欠席数 27名
 ・当日出席率 52.00% ・前々回修正出席率 100%
 <欠席会員> 青野(淳)、藤田、平田、廣川、板脇、神道、菅、小堀、桑森、宮道、西本、大澤、岡本、佐々木、坂本、田中
 渡辺(仁)、渡邊、八木(正)、八木(真)、八木(伸)、山本、米北、吉武
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、村上
 <3/10 欠席補填> (3/1 今治南) 青野(淳)、安藤、藤田、平田、廣川、板脇、神道、菅、木村、小堀、楠橋、桑森、宮道、西信
 大澤、岡本、坂本、渡辺(仁)、渡邊、八木(正)、八木(真)、山本、米北

◇会長挨拶・本日は昨今の石油事情に関しまして、油を売ってる業界を代表して尾越会員に卓話をお願いしています。油を売ると言うこと仕事をサボる意味に使う場合がありますが、江戸時代の油は粘り気があって柄杓から客の榼に注ぎ終わるまでに時間が掛り、注ぎ終わるまでの時間をお客様との雑談で繋いでいたことに由来しているそうです。

◇山内ひとみ会員退会挨拶:[重松会長より花束贈呈] 転勤になり 3/24 で退会することになりました。1年半という短い期間でしたが、毎週木曜日がすごく楽しみでした。明るく元気なのが取り柄なので転勤先でも頑張りたいです。ロータリーで教えて頂いた「奉仕」をこれからも続けていけたらと思います。1年半お世話になりました。

◇幹事報告・前回に引き続き、ウクライナへの災害救援基金の寄付のご協力をよろしくお願いします。



大分類別卓話

◆尾越優会員(大分類:電気・ガス・燃料 小分類:石油販売)『石油販売業界からの視点』

(本題に入る前に)ウクライナには62のロータリークラブと6の衛星クラブがあり、その会員数は約1,100人です。加えて24のローターアクトクラブがあり、その会員数は300人以上で、国際ロータリー第2232地区がウクライナとベラルーシです。ちなみにロシアにロータリークラブはありません。▼カーボンニュートラルについて:2020年9月業界に激震が走りました。当時の菅首相が2050年カーボンニュートラル、2035年ガソリン車の新車販売禁止の目標を発表しました。我々業界にとっての主力商品であるガソリンが、環境にとって悪であると印象付けられてしまいました。自工連はこれに強く反発し、豊田会長はHV、PHVも電動車



であると主張、その甲斐あって翌1月にはHV、PHVも電動車と認定され、純粋なガソリン車はICEという新しい用語で区別されることとなりました。この一連の経緯は『クルマを走らせる550万人』というTVCM(2022年1月)に結実しています。▼トリガー条項凍結解除について:昨今話題の件ですが、ガソリン税等の暫定税率廃止をマニフェストに記していた当時の民主党政権が、収収減等の要因により廃止不可能としてこれを撤回し、その代替法案として2010年3月、レギュラーガソリンの全国平均価格が3か月連続で1リットル160円を超えた場合にはガソリン税の旧暫定税率分1リットル25.1円を減税し、3か月連続で130円を下回れば税率を戻すという租税特別措置法を成立させました。しかし2011年の東日本大震災の復興財源確保のために、同条項は凍結されることとなりました。この条項は民主党政権の方針転換のための代案であることや、ガソリン・軽油のみが対象の減税案であり、地方税も減額となること、法案成立が必要なことから、現在実施されている激変緩和措置としての補助金政策と比較して融通が利きにくいと、現政権下での凍結解除の可能性は低くなっています。▼TAX ON TAX(ガソリン税の二重課税)について:179円/Lのガソリンでは、約40%相当の72.9円/Lが税金となり、弊社においては付加価値の2.5倍程度の税金を徴収していることとなります。▼SSは最後の砦について:全国29,000件のSSのうち15,000件に非常用発電機が設置され、大規模震災等で停電になった場合も給油が可能となっています。また現在の日本の石油備蓄は、国・民間合わせて236日分の備蓄があるとされています。

次 回 例 会(3月31日)

【 大分類別卓話 八木伸樹会員 】

<結婚記念日祝> 板脇 俊匡氏 (4/4)

<入会記念日祝> 光藤 廣司氏 (4/3) 田崎 泰三氏 (4/6)

[笹]

※3月31日のお弁当が、『花見弁当』になっております。お弁当個数の把握の為、例会前日水曜日16時までに例会出欠連絡をよろしくお願い致します。